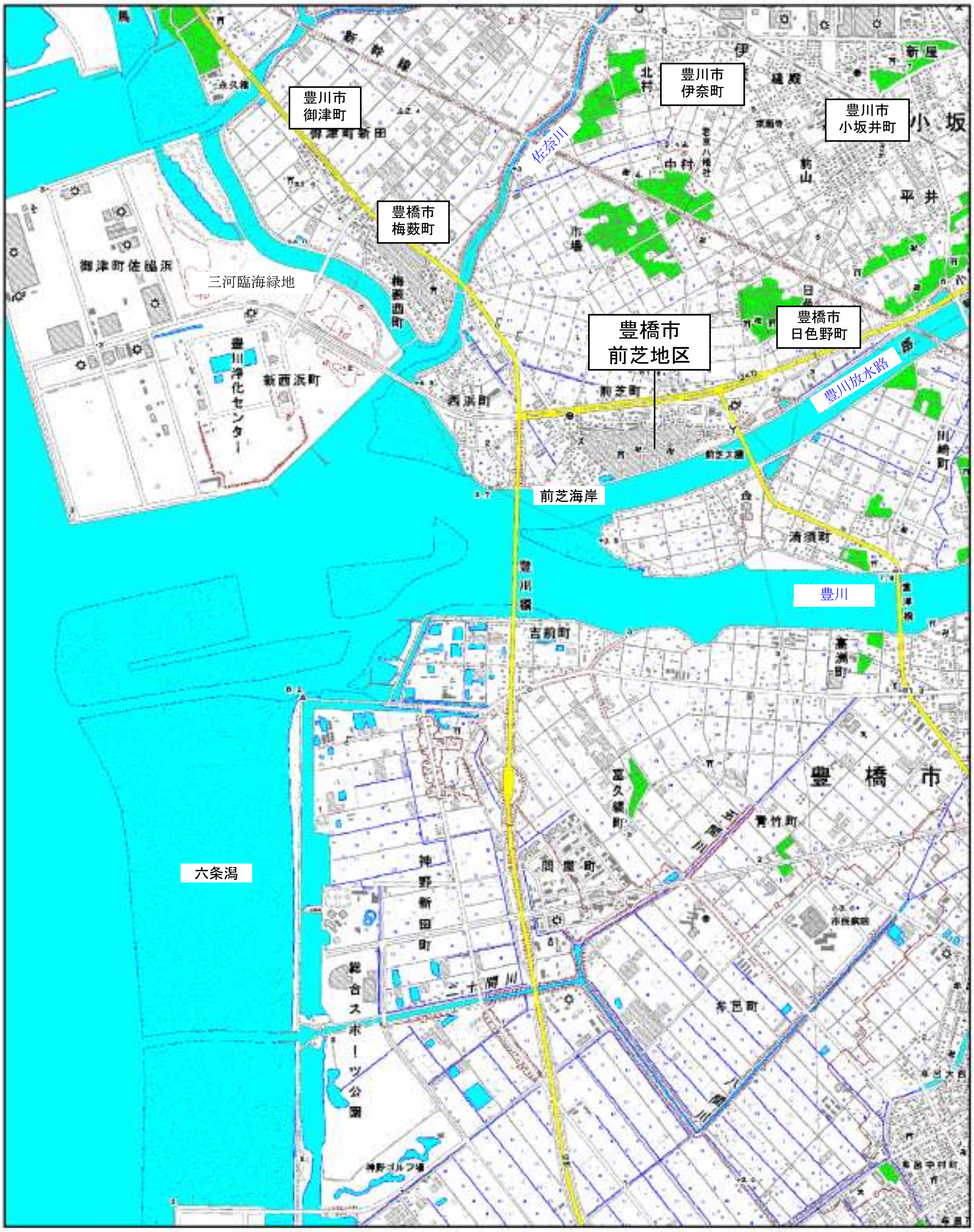
## ３．豊橋市前芝地区

### （１）位置

愛知県豊橋市前芝地区は豊川河口域に位置する。豊橋市中心部から国道 23 号で西へ約６㎞にある海辺の集落で、西は三河湾や臨海緑地に面し、北西は梅藪町、豊川市御津町、東は日色野町、北東は豊川市小坂井町と接する。豊川河口域には左岸側に六条潟と呼ばれる干潟が広がり、愛知県一のアサリの稚貝の採取場所として知られている。また豊川と佐奈川に挟まれた右岸側の前芝海岸においてもアサリ、サルボウガイなど数多くの二枚貝の生息が確認されている。

図 3-1：流域内位置図

図 3-2：位置図




— 主要道路

資料：２万５千分の１地形図、豊橋市生態系保全マニュアル

N

0 200 400 600 800 1,000 m

図 3-3：対象地区および周辺の概況図

## （２）自然環境の概況

### １）気候

前芝地区は、太平洋の暖流と、東と北を走る山地の影響により、比較的温和で、気候条件に恵まれている。豊橋（北緯 34 度 45.0 分、東経 137 度 20.5 分）の平成 21 年（2009 年）の年間気象状況は、年平均気温は 16.3℃、年間降水量 1761.5mm で、最高気温は 34.1℃、最低気温は-2.9℃であり、年間を通じて晴天日が多く農業にとっても好条件な気候である。

表 3-1：豊橋の年間気象状況（2009 年）

| 月 | 降水量<br>(mm) | 日平均気温<br>(℃) | 最高気温<br>(℃) | 最低気温<br>(℃) |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 113.5 | 5.7 | 15.0 | -2.9 |
| 2 | 58.0 | 8.0 | 19.0 | -0.7 |
| 3 | 127.0 | 9.5 | 20.7 | 1.5 |
| 4 | 132.0 | 14.7 | 23.5 | 4.7 |
| 5 | 299.0 | 19.0 | 28.6 | 10.9 |
| 6 | 239.0 | 22.2 | 29.8 | 13.8 |
| 7 | 199.5 | 25.8 | 32.5 | 20.1 |
| 8 | 112.0 | 26.5 | 32.6 | 19.3 |
| 9 | 76.0 | 23.6 | 34.1 | 13.9 |
| 10 | 197.0 | 18.3 | 27.2 | 9.9 |
| 11 | 163.5 | 13.4 | 24.6 | 3.7 |
| 12 | 45.0 | 8.4 | 18.0 | -1.1 |
| 年間 | 1761.5 | 16.3 | 34.1 | -2.9 |

出典：気象情報統計

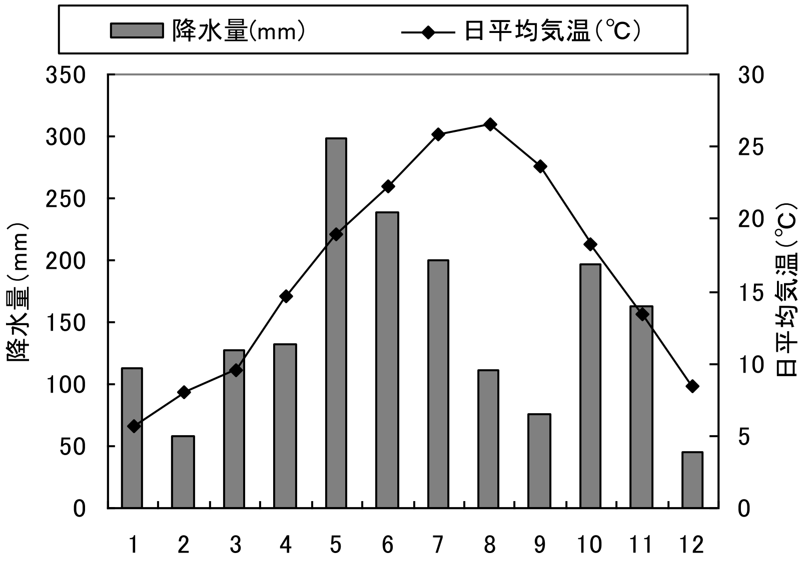
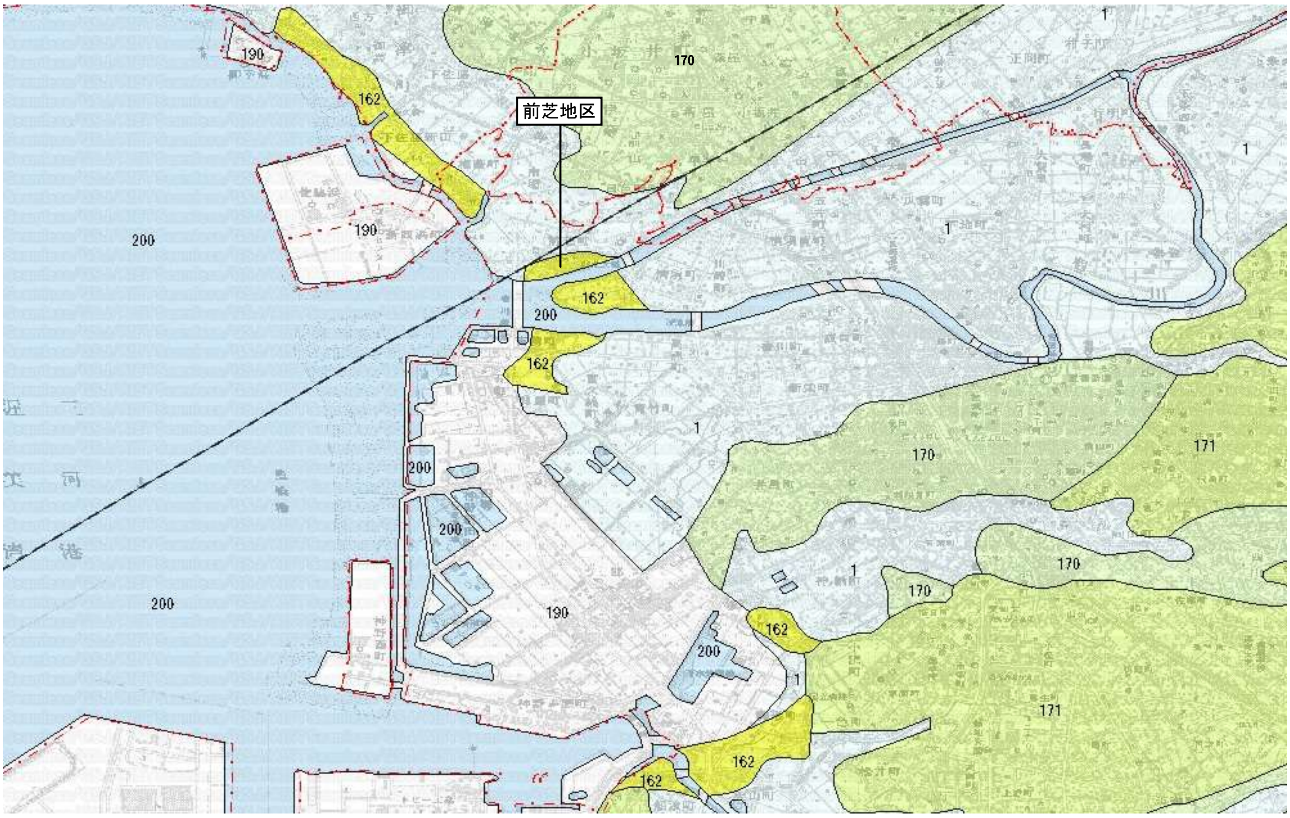



図 3-4：豊橋の月別平均気温と降水量（2009 年）

気象情報統計より作成

２）地形・地質

前芝地区は豊川河口低地帯に位置し、豊川河口低地帯の大部分は沖積層地帯に属し、水田が広く分布する。前芝地区は豊川河口の自然堤防上に古墳時代頃から村づくりされた地域で、海岸に近く標高２m程度であり、古来海岸に近いところでは高潮の災害にあってきた地域である[1]。前芝地区の地質は、「後期更新世－完新世（約１万 8000 年前～現在）の砂丘」で、古文書には前芝地区に「前島」「前の島」という記載がみられるなど、豊川の流れによって上流から土砂が運ばれ、下流部に洲や島がつくられていったことがわかっている[2]。




凡例

| | |
|---|---|
| 1 | 後期更新世－完新世（約１万 8000 年前～現在）の堆積岩類（海成及び非海成層） |
| 162 | 後期更新世－完新世（約１万 8000 年前～現在）の砂丘 |
| 170 | 後期更新世（約７万年前～１万 8000 年前）の低位段丘 |
| 171 | 後期更新世（約 15 万年前～７万年前）の中位段丘 |
| 190 | 完新世（現世）の人工改変地・埋立地 |
| 200 | 現在の湖水・河川・海など |

**図 3-5：地質区分図**

出典：産業技術総合研究所地質調査総合センター「シームレス地質図データベース」

３）植生

豊川河口部一帯は、農地と市街地が混在し、わずかに自然林（常緑広葉樹林）が残されている。巨樹・巨木調査（昭和 63 年、第４回自然環境保全基礎調査、環境庁自然保護局、平成 16 年、第６回自然環境保全基礎調査、環境省自然環境局）では、地区の北東に位置する日色野町のタブノキ（熊堅神社）、伊奈町のタブノキ（東漸寺）が調査対象となっている。

1 前芝村誌（1959）前芝村誌編纂専門委員会
2 校区のあゆみ　前芝（2006）前芝校区総代会、前芝校区史編集委員会

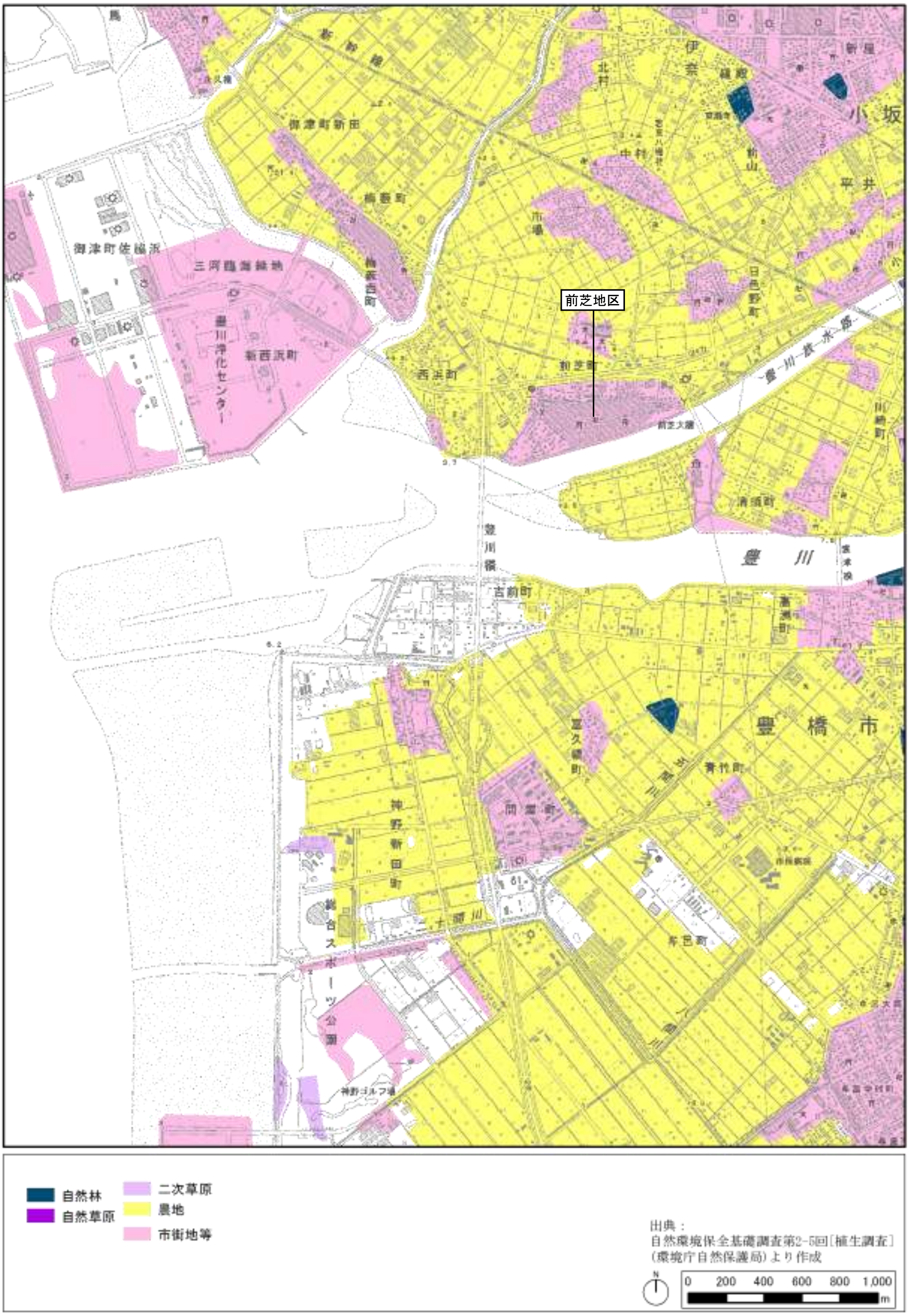

前芝地区
豊川
豊橋市
小坂
平井
伊奈
御津町新田
御津町佐脇浜
三河臨海緑地
豊川浄化センター
新西浜町
西浜町
前芝町
豊川放水路
清須町
吉前町
青竹町
明海町
神野新田町
総合スポーツ公園
神野ゴルフ場
自然林
自然草原
二次草原
農地
市街地等
出典：
自然環境保全基礎調査第2-5回［植生調査］
（環境庁自然保護局）より作成
0 200 400 600 800 1,000
m

図 3-6：植生区分図

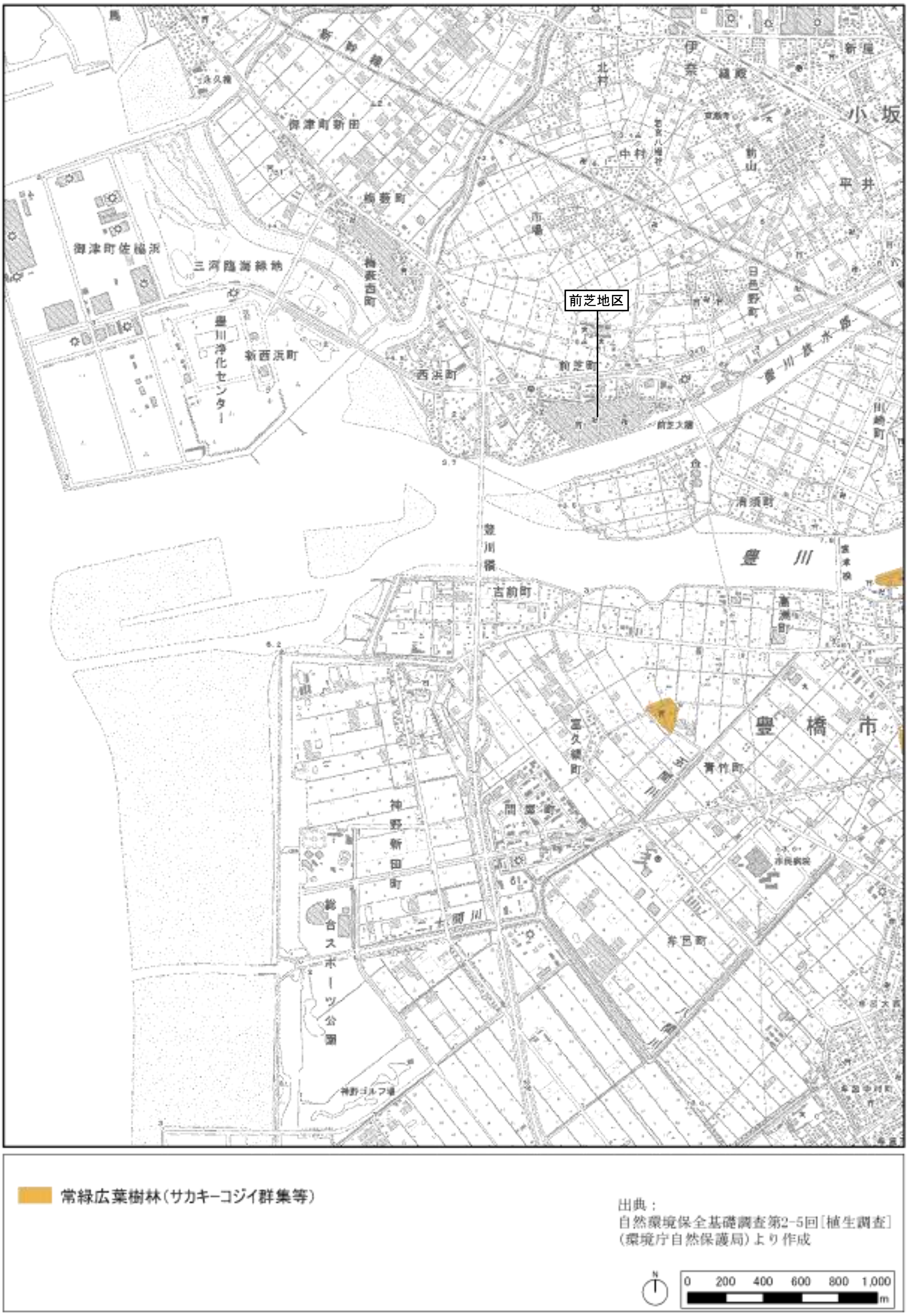
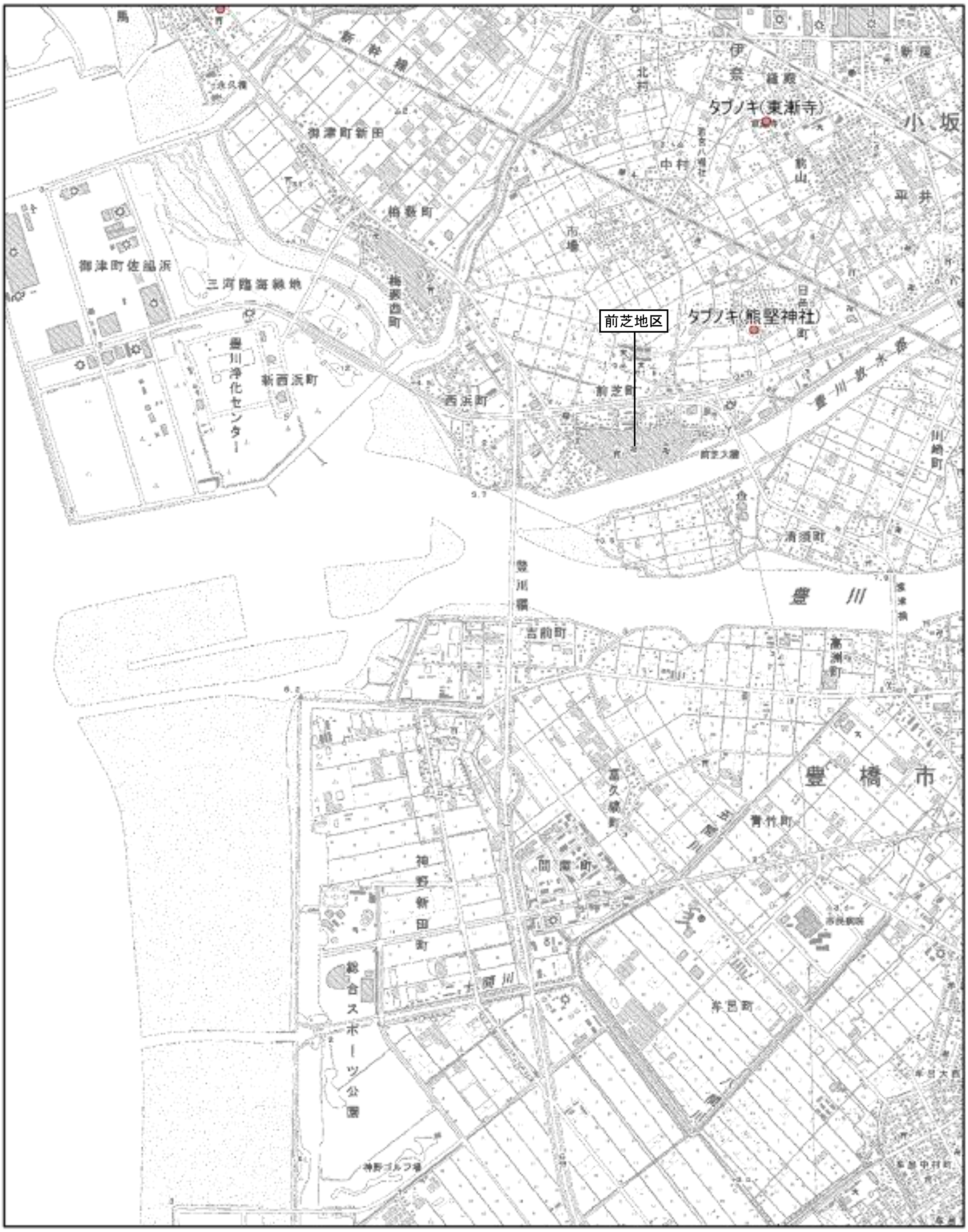



図 3-7：自然林・自然草原の分布




特定植物群落(主な選定理由※2)〔該当無し〕
- 原生林もしくはそれに近い自然林
- 分布限界に位置する植物群落、個体群
- その他貴重な植物群落、個体群

- 巨樹・巨木(保護制度あり)〔該当無し〕
- 巨樹・巨木(保護制度なし)

※1：郷土景観を代表する植物群落を除く。
※2：主な選定理由は上位項目を優先とする。
出典：
自然環境保全基礎調査第2-5回［特定植物群落調査］および第4回［巨樹・巨木調査］（環境庁自然保護局）より作成

N

0 200 400 600 800 1,000 m

図 3-8：特定植物群落、巨樹・巨木の分布

### （３）社会環境の概況

#### １）人口

平成 17 年（2005 年）国勢調査では、前芝町（行政町別）の人口は2,024 人、世帯数は619 世帯で、高齢化率（65 歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は 23.12%である。平成 12 年（2000 年）から平成 17 年（2005 年）の人口増減率は－0.98%、世帯の増減率は 12.34%で、人口は減少しているが世帯数は増加している。また前芝校区[3]でみると、前芝町の人口（2,019 人）が最も多く、校区総数(4,136 人)の約 48.8%を占める。

平成 22 年（2010 年）10 月現在の人口は、男 971 人、女 1,041 人、総数 2,012 人で、平成 12 年（2000 年）から平成 22 年（2010 年）10 月の人口増減率は-1.57%で、特に男性の減少率が大きい。

表 3-2：前芝町（行政町別）の人口・世帯数（国勢調査）

| 町丁・字名 | 人口総数（人） | 性別人口（人） | | 年齢別人口（人） | | | 世帯数（世帯） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 男 | 女 | 15歳未満 | 15～64歳 | 65歳以上 | |
| H17年度国勢調査 | 2,024 | 996 | 1,028 | 285 | 1,271 | 468 | 619 |
| 総数を占める割合 | 100.00% | 49.21% | 50.79% | 14.08% | 62.80% | 23.12% | - |
| H12年度国勢調査 | 2,044 | 1,008 | 1,036 | - | - | - | 551 |
| 増減数 | △ 20 | △ 12 | △ 8 | - | - | - | 68 |
| 増減率 | -0.98% | -1.19% | -0.77% | - | - | - | 12.34% |

※増減数＝平成17年人口(世帯数)-平成12年人口(世帯数)
※増減率＝増減数/平成12年人口(世帯数)×100

出典：平成 17 年国勢調査

表 3-3：前芝校区の人口・世帯数（国勢調査）

| 町名 | 平成17年国勢調査 | | | | 平成12年国勢調査 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 世帯数（世帯） | 人口(人) | | | 世帯数（世帯） | 人口(人) | | |
| | | 総数 | 男 | 女 | | 総数 | 男 | 女 |
| 前芝町 | 618 | 2,019 | 993 | 1,026 | （前芝町）937 | 3,037 | 1,518 | 1,519 |
| 西浜町 | 306 | 812 | 440 | 372 | | | | |
| 前芝住宅 | 103 | 310 | 143 | 167 | | | | |
| 梅藪町 | 188 | 681 | 344 | 337 | 176 | 729 | 372 | 357 |
| 日色野町 | 82 | 314 | 143 | 171 | 77 | 345 | 158 | 187 |
| 前芝校区　計 | 1,297 | 4,136 | 2,063 | 2,073 | 1,190 | 4,111 | 2,048 | 2,063 |

出典：平成 17 年国勢調査

表 3-4：前芝地区の人口・世帯数の推移

| | 人口総数 | 男 | 女 | 世帯数 |
|---|---|---|---|---|
| 平成22年10月現在 | 2,012 | 971 | 1,041 | 726 |
| 平成17年国勢調査 | 2,024 | 996 | 1,028 | 619 |
| 平成12年度国勢調査 | 2,044 | 1,008 | 1,036 | 551 |
| 増減数 | △ 32 | △ 37 | 5 | 175 |
| 増減率 | -1.57% | -3.67% | 0.48% | 31.76% |

※増減数＝平成22年10月現在人口(世帯数)-平成12年人口(世帯数)
※増減率＝増減数/平成12年人口(世帯数)×100

出典：豊橋市行政課統計調査グループ資料

3　前芝校区は、前芝町、梅藪町、日色野町、西浜町、前芝住宅の５地区からなる。豊橋市では、自治会が集まり校区自治会を組織し、自治会の活動を推進している。

## ２）土地利用

前芝地区の集落は豊川放水路に面した三角州の低地にあり、入り組んだ路地が今も残されており、屋敷は家屋と自家菜園で構成されている。

周辺地域の土地利用をみると、前芝地区一帯は「田」「その他の農用地」「建物用途」が混在し、特に前芝地区の北側の小坂井町、伊奈町周辺ではまとまった規模の住宅地や工場が立地し、市街化が進んでいる。前芝地区は国道23号により豊橋市中心部および蒲郡市中心部と連絡する。

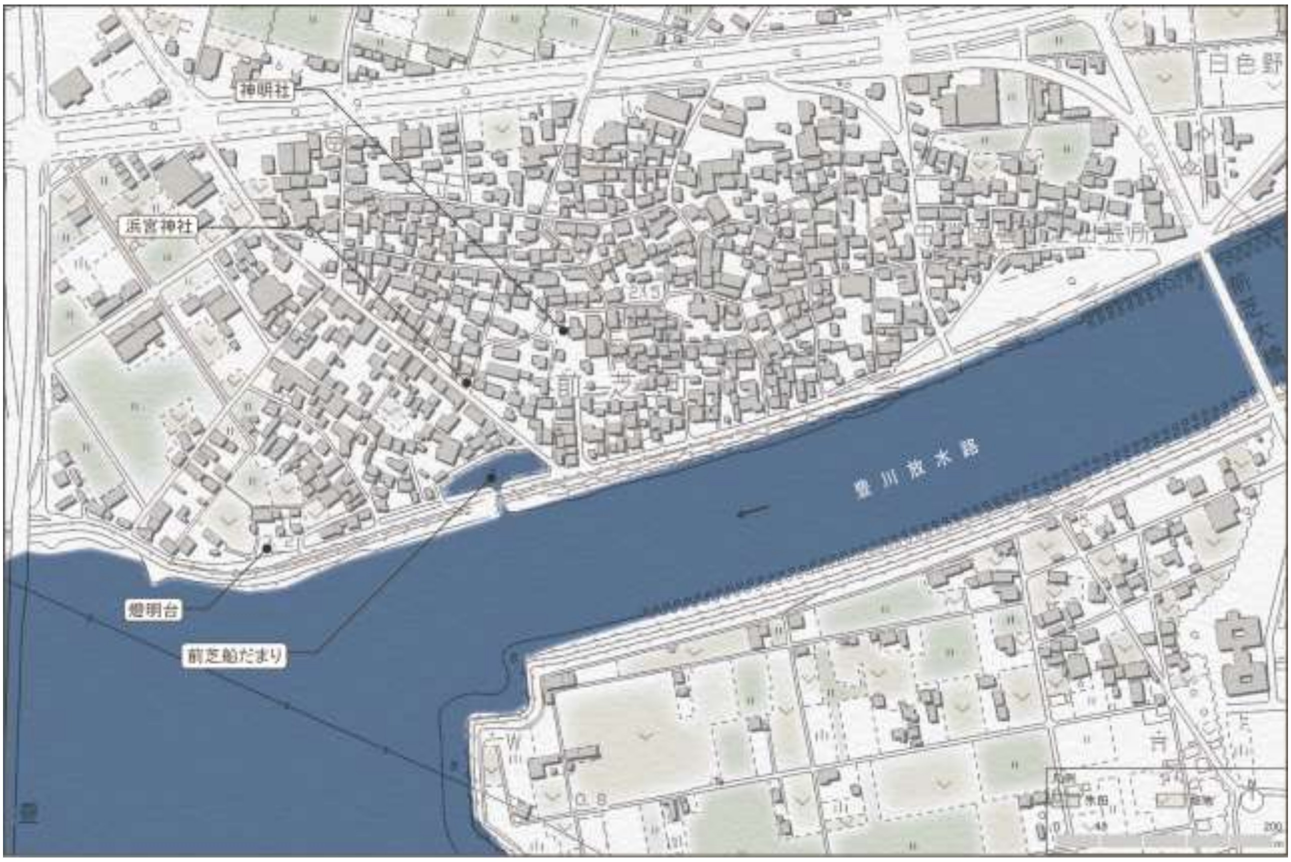



図 3-9：土地利用平面図

前芝船だまりと集落

豊川放水路より集落をのぞむ

漁村特有の狭い路地

図 3-10：前芝地区の様子

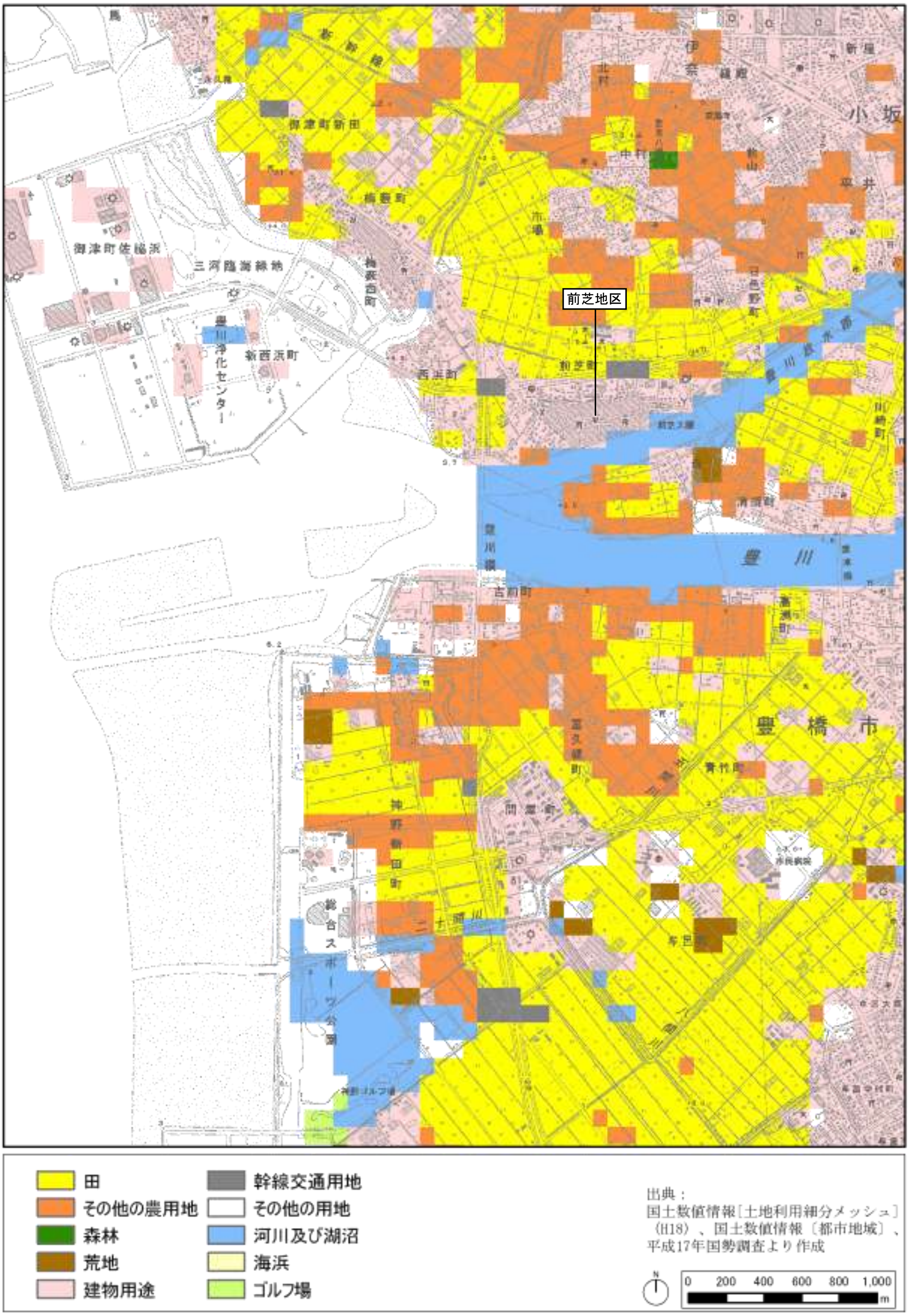

前芝地区
豊川
豊橋市
小坂
田
その他の農用地
森林
荒地
建物用途
幹線交通用地
その他の用地
河川及び湖沼
海浜
ゴルフ場
出典：
国土数値情報［土地利用細分メッシュ］（H18）、国土数値情報〔都市地域〕、平成17年国勢調査より作成
0 200 400 600 800 1,000
m

図 3-11：土地利用図

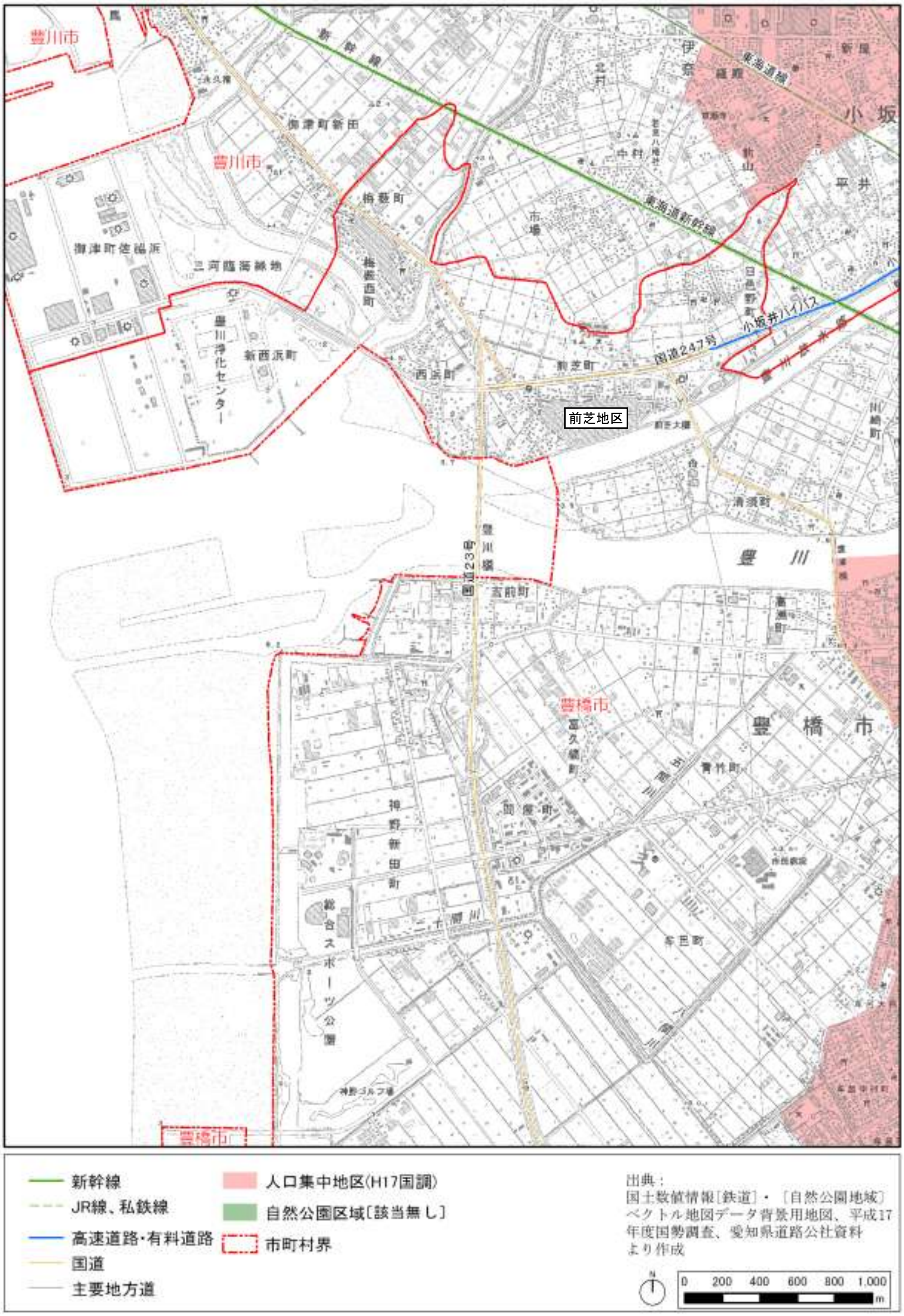

豊川市
新幹線
伊奈
東海道線
小坂
御津町新田
豊川市
梅薮町
市場
東海道新幹線
平井
御津町佐脇浜
三河臨海緑地
梅薮西町
日色野町
小坂井バイパス
豊川浄化センター
新西浜町
国道247号
西浜町
前芝町
前芝地区
清須町
国道23号
豊川橋
豊川
前芝町
豊橋市
豊橋市
青竹町
神野新田町
総合スポーツ公園
豊橋市
新幹線
JR線、私鉄線
高速道路・有料道路
国道
主要地方道
人口集中地区(H17国調)
自然公園区域[該当無し]
市町村界
出典：
国土数値情報[鉄道]・[自然公園地域]
ベクトル地図データ背景用地図、平成17年度国勢調査、愛知県道路公社資料
より作成
0 200 400 600 800 1,000
m

図 3-12：交通網

### 3）産業

前芝集落(都市的地域)の平成 17 年(2005 年)の農家数は 105 戸(うち販売農家数 49 戸）で県平均[4]農家数（26 戸）を大きく上回るが、平成７年（1995 年）と比べた販売農家の増減率は-36.36%であり、販売農家は大きく減少している。平成 17 年（2005 年）の農家人口（507 人)、経営耕作面積（50ha）は、ともに県平均（農家人口 113 人、経営耕作面積 16ha）を大きく上回る。

図 3-13 前芝集落の範囲

表 3-5：前芝集落の農家数

| | 都府県平均(2005) | 県平均(2005) | 2005 年 | 2000 年 | 1995 年 | 増減数(※1) | 増減率(※2) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総戸数(戸) | … | … | … | 922 | … | – | – |
| 総農家数(戸) | 20 | 26 | 105 | 107 | 123 | △ 18 | −14.63% |
| 販売農家数(戸) | 14 | 15 | 49 | 65 | 77 | △ 28 | −36.36% |

※1：増減数＝2005年農家数-1995年農家数
※2：増減率＝増減数/1995年農家数×100

出典：農林業センサス

表 3-6：前芝集落の農家人口

| | 都府県平均(2005) | 県平均(2005) | 2005 年 | 2000 年 | 1995 年 | 増減数(※1) | 増減率(※2) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男女計(人) | 82 | 113 | 507 | 533 | 632 | △ 125 | −19.78% |
| 男計(人) | 40 | 55 | 233 | 252 | 306 | △ 73 | −23.86% |
| 女計(人) | 42 | 58 | 274 | 281 | 326 | △ 52 | −15.95% |

※1：増減数＝2005年農家人口-1995年農家人口
※2：増減率＝増減数/1995年農家人口×100

出典：農林業センサス

表 3-7：前芝集落の耕地面積

| | 都府県平均(2005) | 県平均(2005) | 2005 年 | 2000 年 | 1995 年 | 増減数(※1) | 増減率(※2) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 所有耕地面積(ha) | 21 | 20 | 51 | … | … | – | – |
| 耕作放棄地面積(ha) | 3 | 3 | 6 | … | … | – | – |
| 経営耕地面積(計)(ha) | 19 | 16 | 50 | 43 | 47 | 3 | 6.38% |
| 経営耕地面積(田)(ha) | 13 | 10 | 39 | 30 | 32 | 7 | 21.88% |
| 経営耕地面積(畑)(ha) | 4 | 5 | 10 | 13 | 14 | △ 4 | −28.57% |
| 経営耕地面積(樹園地)(ha) | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | – |

注：所有耕地面積、耕作放棄地面積は総農家＋土地持ち非農家。経営耕地面積は販売農家。
※1：増減数＝2005年耕地面積-1995年耕地面積
※2：増減率＝増減数/1995年耕地面積×100

出典：農林業センサス

### 4）文化財

前芝の燈明台は、かつて吉田湊における船の重要な指針となった灯明台で、昭和 40 年（1965 年）５月に県指定史跡に指定されている。前芝地区一帯には、蛤珠寺や水神神社などの海との密接なつながりを表す名称の社寺や、船の安全を願う祭りが行われてきた神明社、漁業組合によって管理されてきた浜宮神社などが分布し、海の恵みや船の安全を見守ってきた。また前芝地区は近世から近代にかけて三河海苔の産地として知られ、創業者である杢野甚七の石碑が明治 26 年（1893 年）に建立された。

また周辺の豊川市伊奈町には、前芝地区とゆかりのある東漸寺が立地する。

4 県平均：該当都道府県内のうち、全域が市街化区域の農業集落を除いた農業集落の平均値をいう
都府県平均：北海道を除く全国の平均値をいう（全域が市街化区域の農業集落を除く）

前芝地区および周辺地域の指定文化財一覧

| 名称 | 種別 | 指定年月日 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| 前芝の燈明台 | 県指定史跡 | 1965年5月21日 | 前芝町字青木95地先堤防 |
| 平井稲荷山貝塚・平井遺跡 | 市指定史跡 | 1997年3月3日 | 豊川市平井町 |

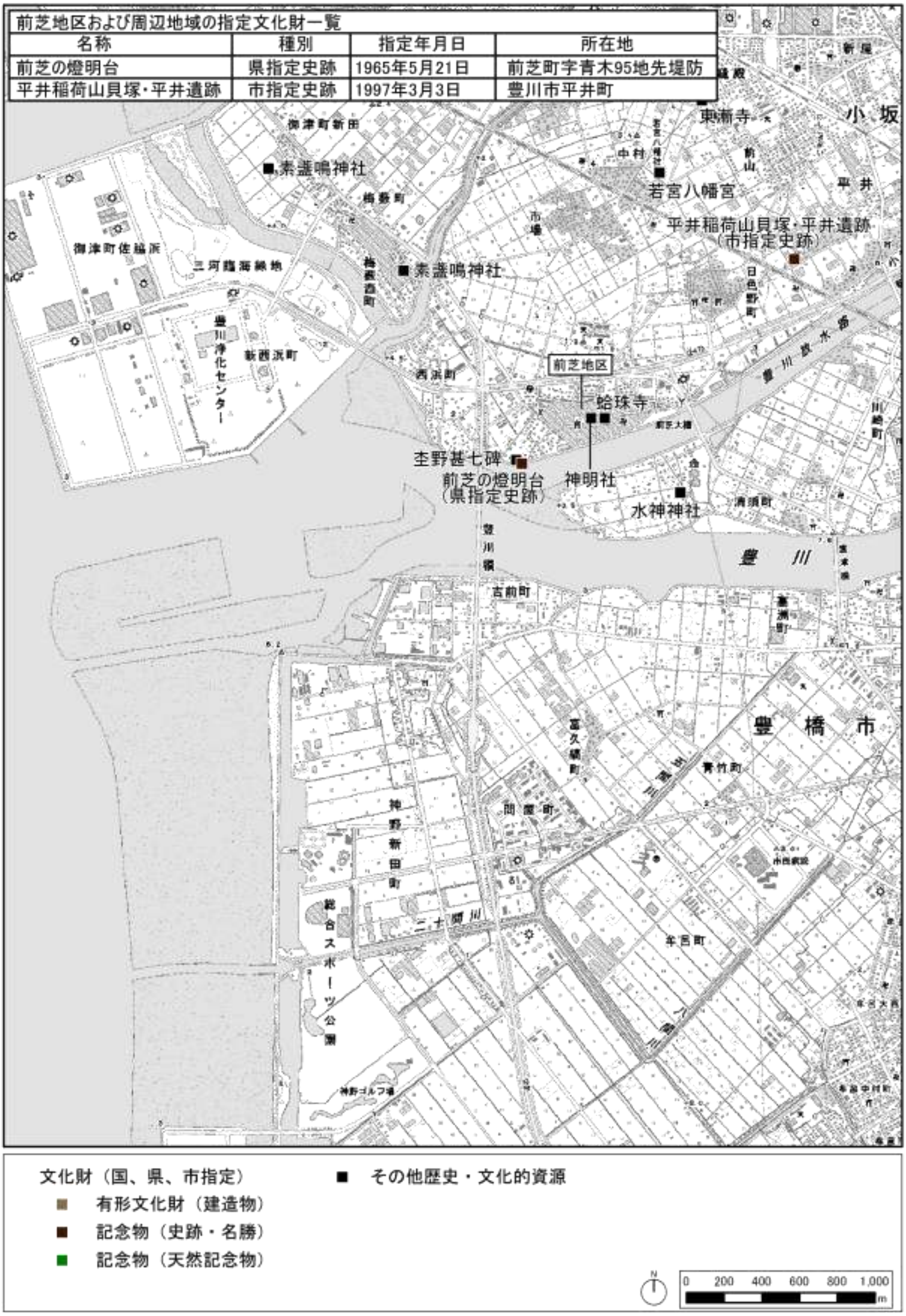



図 3-14：文化財・歴史的資源の分布

表 3-8：東漸寺　概要

| | | |
|---|---|---|
| 住所 | 豊川市伊奈町縫殿 58 | |
| 概要 | ・東漸寺は、かつて前芝村に位置する真言宗の寺であったが、廃寺となり、延命地蔵尊を祀る小堂だけになっていた。その後、津波により小堂が流され、地蔵尊が伊奈に流れ着き、村人がこれを崇めて祀ったことが契機となり現在の位置に建立される。<br>・地蔵尊を本尊として、明応元年（1492 年）に第三代伊奈城主本多正時が堂宇を建て、知多郡緒川の乾坤院の亨隠慶泉禅師を開山とし、萬年山東漸寺と名付け、本多家先祖累代の菩提寺とした。 | |

出典：豊川市観光協会資料

前芝燈明台

杢野甚七碑

蛤珠寺

神明社

図 3-15：前芝地区の歴史資源

## （４）法制度

### ア）都市計画区域区分

前芝地区、西浜町、梅藪町および豊川浄化センター一帯の埋立地は都市計画区域に指定されている。地区周辺は市街化調整区域に指定され、農地が広がっている。

### イ）農地

前芝地区周辺に広がる農地の大部分は、農業地域および農用地区域に指定されている。

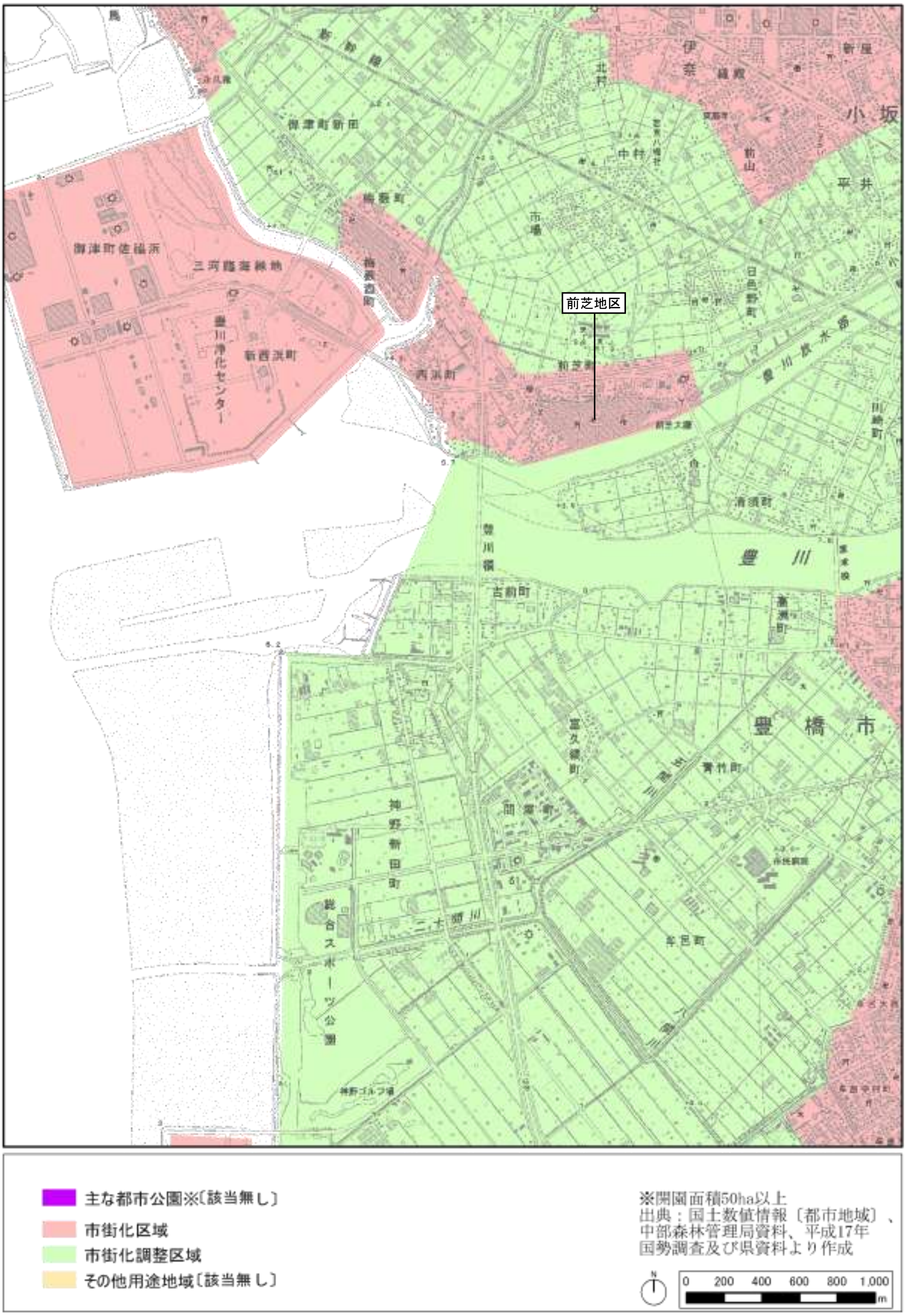



図 3-16：都市計画区域区分

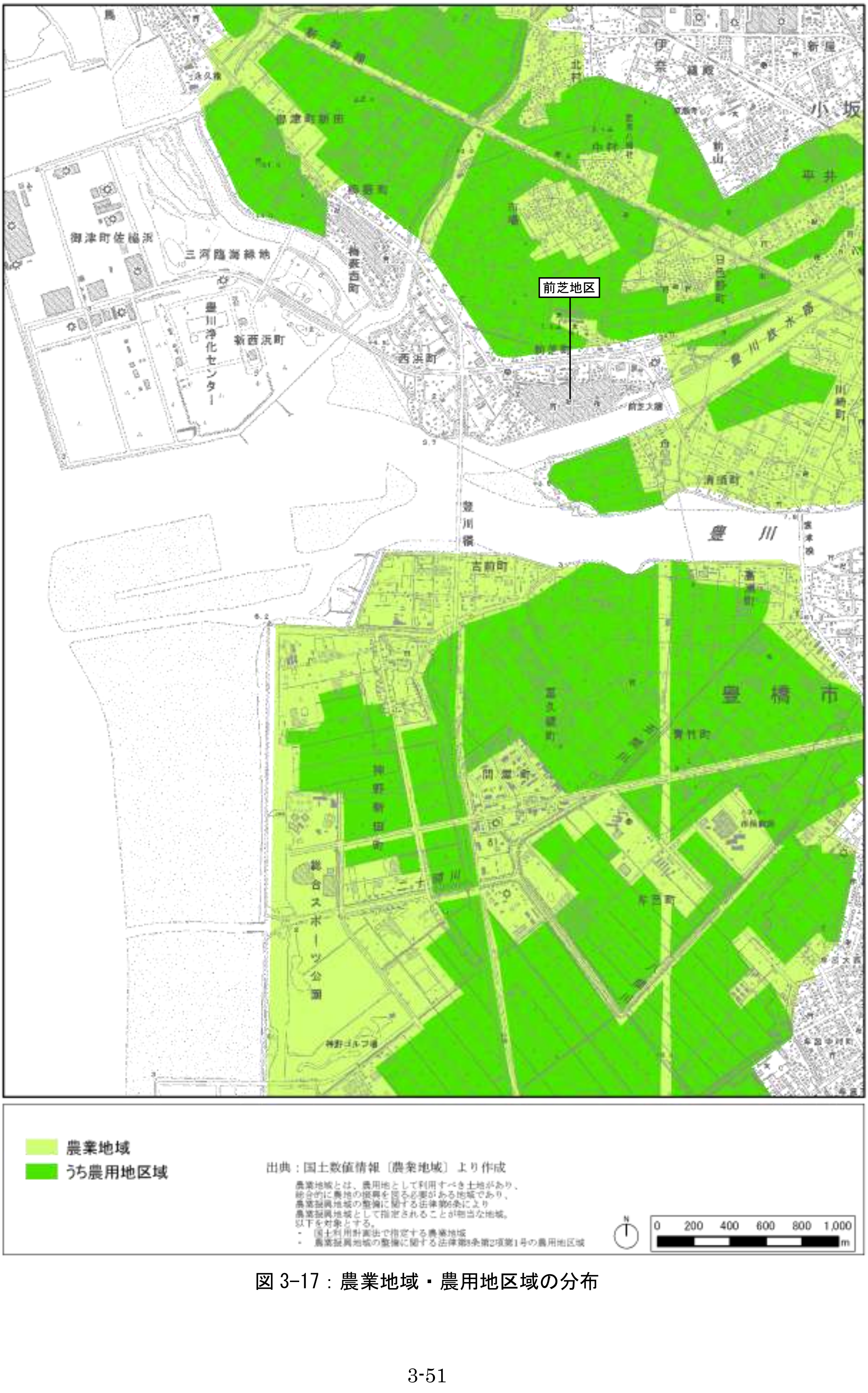



図 3-17：農業地域・農用地区域の分布